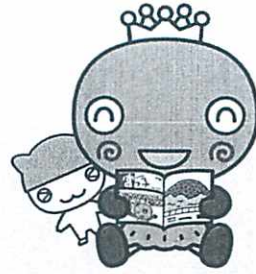


今月の表紙(生瀬地域)は  
和太鼓寺子屋

# 宮っ子



西宮市観光キャラクター「みやたん」「みにゃっこ」

# 9・10

September-October 2019

No.360

編集・発行／西宮コミュニティ協会



特集

## 育成センターはいま

### 急増する利用児童数



今月の表紙(生瀬地域)  
和太鼓寺子屋

# ええとこ西宮 フレイバック

今回は、昭和61(1986)年7月号に掲載された「甲子園高速フェリー」を振り返ります。西宮航路が一番のにぎわいを見せた1990年代前半。鳴尾浜から出港するフェリーの汽笛を懐かしく覚えている人も少なくないでしょう。

淡路島に出入りする船の中で、一番大きなフェリーが使われています。甲子園高速フェリーの航路は、西宮(鳴尾港)から淡路島(志筑)まで53.5kmを終夜1日151便航行しており、豪華4ドの3000トン級新造船が京航しています。

## 京航しているフェリー



ほのほ 2,985トン  
昭和60年4月竣工



しぎき 2,992トン  
昭和60年7月竣工



いくほ 2,988トン  
昭和60年11月竣工

西宮から淡路島・四国路へ回第5はやぶさ  
一般旅客と自乗車を航送する 1,608トン  
パイロットの定期航路です。昭和47年3月竣工  
現在一日平均利用台数(乗用車・バス・トラック含む)



約450台

一般旅客(車利用の人も含む)



約800人

旧船の第2はやぶさ(1,758トン)は中国へ  
第3はやぶさ(1,611トン)はウレグアイで  
現在京航しています。



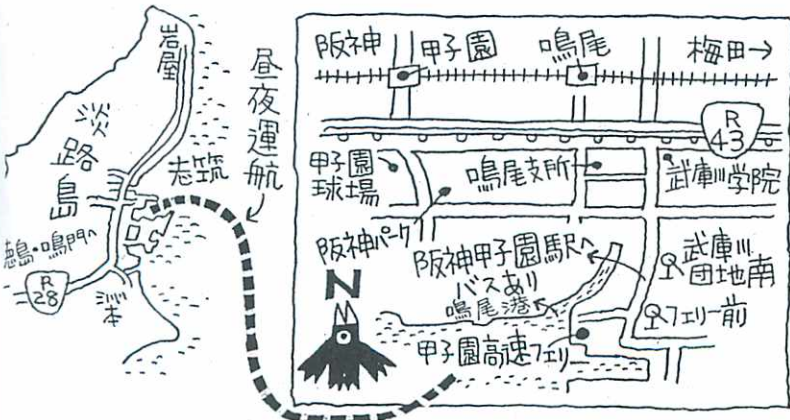
(1998)年8月31日、第14便(西宮13時40分、津名13時30分)が最後の運航となりました。  
明石海峡大橋開通後も存続のための対策を講じましたが、利用者の減少が著しく、平成10  
と西宮市(航路総延長距離53km)とを24時間運航で結んでいました。  
西宮市と淡路島・津名町とを結ぶ「甲子園高速フェリー」は、昭和46(1971)年11月、  
西宮市鳴尾浜と津名町志筑間で開業し、ターミナルの位置を変更しながら約27年間、淡路島  
と西宮市(航路総延長距離53km)とを24時間運航で結んでいました。

所在地 西宮市鳴尾浜一丁目二番地

# 甲子園高速フェリー株式会社

## 会社の三メモ

- 昭和45年5月 ..... 山下新日本汽船が三和銀行グループ  
の社と共同設立。
- 昭和46年2月 ..... 事業免許取得。
- 昭和46年11月 ..... 営業開始。
- 昭和51年5月 ..... 山下新日本汽船の要請により常石造船  
グループが経営することになる。



# お見送り記

出入港(接岸)の時は船長さんがこの機械をたぐみに操って舟を動かします。

なんとなく船長さんの気分にはまりました。

船長さんが案内してくれた

「なるお」の操舵室

バウスタ 操縦盤

操舵室からは西宮の街が箱庭のようにきれいに見えています。

乗用車専用のサイドランフ

船が接岸すると生きもののようにゆっくりと降りてきます。

本社事務所



乗船待ちをする大型観光バス

切符売り場

待合所

喫茶室  
Sweet Parlor  
chad

売店



「なるお」

回全長 89.95 m  
回巾 16.60 m

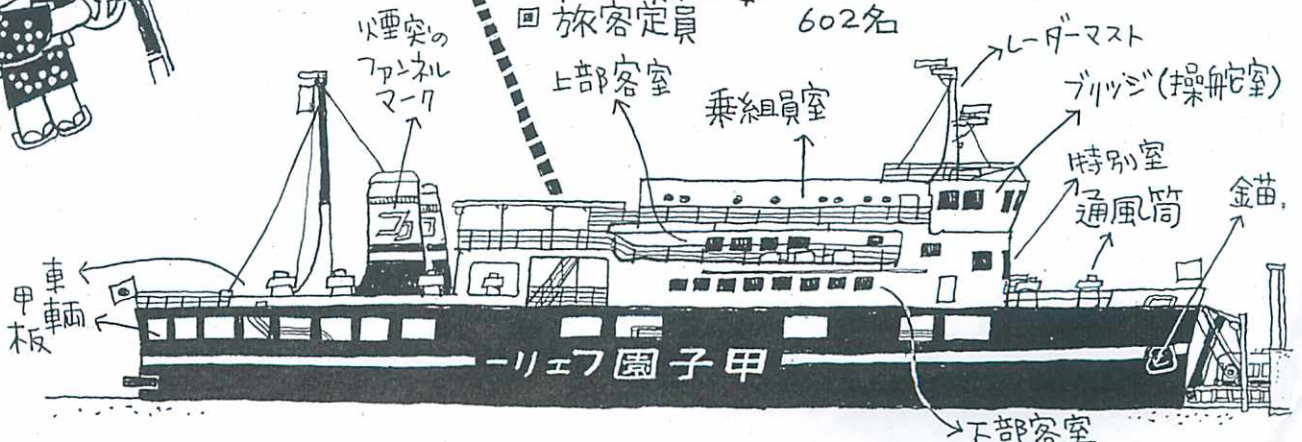
回1時間55分で淡路島(志筑)へ航行します。

時速約32km

回速度 最大18.67ノット 航海17.50ノット

回車庫面積載台数 トラック30台 乗用車30台

回旅客定員 602名



スイッチを終ると、心もよく汽笛をふと鳴り残して「なるお」は静かにバスを介しました……。